



## 1. プラズマ計測装置調達取決めの締結

ITER 機構と原子力機構は、日本が調達責任を有するプラズマ計測装置のうち、4つの計測装置（ポロイダル偏光計、周辺トムソン散乱計測装置、ダイバータ赤外サーモグラフィ、ダイバータ不純物モニター）についての調達取決めに締結しました。（ITER 機構は7月30日、原子力機構は8月7日に署名）。これは、昨年4月に締結したマイクロ・フィッションチェンバーの調達取決めに引き続き、日本が担当する計測装置の2番目の調達取決めに なります。

ポロイダル偏光計は、多視線の遠赤外レーザーをプラズマに入射し、プラズマを通過したレーザー光の偏光状態の変化から、プラズマの電流分布を計測します。周辺トムソン散乱計測装置は、YAG レーザーをプラズマに入射し、ペダスタル領域を含む周辺プラズマの電子温度と電子密度を高空間分解能で計測します。ダイバータ赤外サーモグラフィは、内側ダイバータ板および外側ダイバータ板において ELM などによる熱流束を高空間・高時間分解能で計測します。ダイバータ不純物モニターは、ダイバータプラズマからの紫外～可視光の発光分布から、ダイバータに流

入するプラズマ粒子束やダイバータ領域での不純物の挙動を計測します。今後、本調達取決めにに基づき、これら4つの計測装置の詳細設計を開始します（図1）。

## 2. ITER トロイダル磁場 (TF) コイルおよび構造物の実機製作の契約締結

原子力機構は、2012年度に、日本が調達を担当する ITER トロイダル磁場 (TF) コイル、および欧州が調達を担当する TF コイルに用いる構造物について、各々の初号機製作および実規模試作の契約を締結しました。これに引続いて、4機分の TF コイル、および3機分の欧州分 TF コイル用構造物を製作する契約の締結に向けて契約の手続を進めてきました。この度、TF コイル第2号機および第4号機を製作する契約を三菱重工株式会社と、TF コイルの第3号機と第5号機を製作する契約を株式会社東芝と、第2号機から第4号機の欧州分 TF コイル用構造物を製作する契約をイーエナジー株式会社と締結しました。これにより実機の TF コイルおよび構造物の製作を着実に進めます。

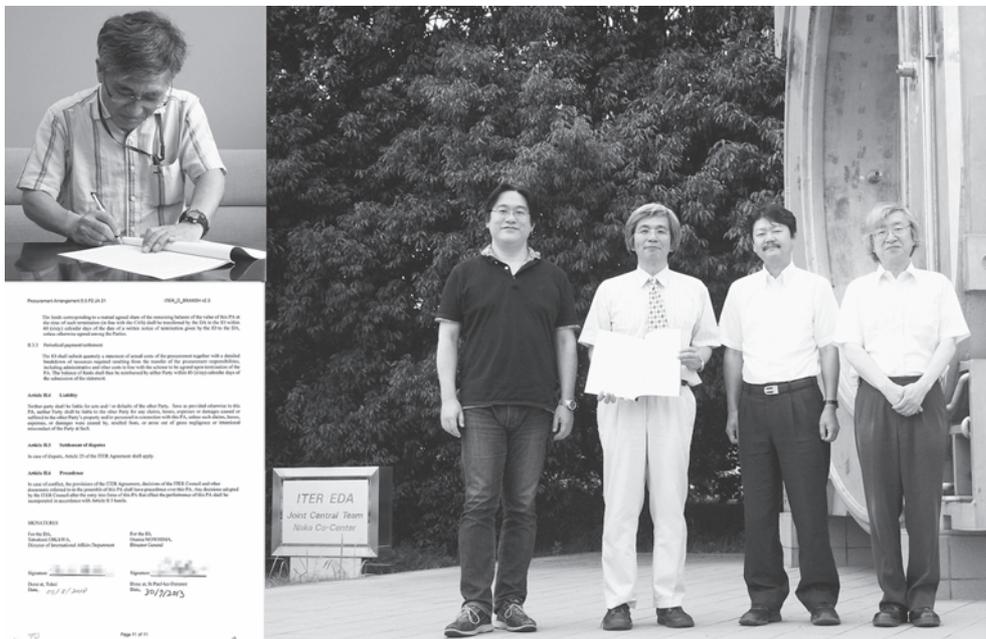


図1 調達取決め文書と署名の様子。